

ANTA

NEWS

vol.283

2026 SPRING

春



がんばろう！日本

特集

第20回国内観光活性化フォーラムinならを開催

本部会議 実施報告

第218回 理事会 / 第64回・第65回 常任理事会

第26回 支部長連絡会

第16回 支部事務局長会議 / 第48回 弁済業務副管理役会

協会情報

標準旅行業約款の一部改正

令和7年度 旅行業務取扱管理者定期研修の開催

近藤会長が令和7年度景品表示適正化功績者表彰を受賞



修学旅行・社会科見学費用をスムーズに集金！
入金管理もお任せの**コンビニ決済サービス**



※一部スマホ決済アプリにも対応

【こんなお悩みありませんか?】

- ・学校や保護者への**集金業務**が手間
- ・旅行費用の**請求**や**回収金の確認**作業が大変
- ・**保護者の個人情報**を社内管理することが不安
- ・学校や保護者から**多様な支払方法**を求められている
- ・**他社サービス**を利用しているが使い勝手が悪い



コンビニ決済のメリット

- ・請求や回収の確認はパソコンから一元管理が可能
- ・各学校、学年ごとの入金管理も可能
- ・保護者の口座番号など個人情報は不要
- ・スマホ決済アプリでの支払にも対応

リコーリースなら

- ・初期導入費用**0円**
- ・専用フリーダイヤル完備
- ・万全のサポート

詳しくは
ここをクリック!



お電話での相談も承っております

0120-727-702

(受付時間:平日 午前9:00~午後5:00)

●右記番号をお知らせいただくとスムーズにご案内できます→**キャンペーンコード:ANTARL**

その悩み!!リコーリースの
コンビニ決済サービスで
解消できます!



特集

- 古都奈良で2月11日建国記念の日に開催 2~13
第20回 国内観光活性化フォーラム in なら
- 奈良県送客キャンペーン ご協力のお祝い 14
- 奈良フォーラム大会誌のご紹介 14
- 観光を学ぶ学生と奈良の新たな旅行商品を造成 15

本部会議 実施報告

- 第218回 理事会 / 第64回・第65回 常任理事会 16
- 第26回 支部長連絡会 17
- 第16回 支部事務局長会議 / 第48回 弁済業務副管理役会 18

協会情報

- 標準旅行業約款の一部改正 20
- 令和7年度 旅行業務取扱管理者定期研修の開催 21
- 近藤会長が令和7年度 景品表示適正化功績者表彰を受賞 21
- お知らせ / (一社)福岡県旅行業協会 22
- 観光庁 旅行・観光消費動向調査 25
- 令和7年12月~令和8年2月 正会員入会者 26・27
- 全旅協の動き 30



〈表紙の写真〉
奈良県 / 奈良公園
ナラケン ナラコウエン
660haの広大な地域にまたがる奈良公園は、公園内に生息する天然記念物の野生の鹿で有名ですが、春日大社や正倉院など貴重な歴史的文化遺産と豊かな緑の自然美が調和し、歴史公園とも称され、県民に愛される憩いの地として人気を博している。

特集

古都奈良で2月11日建国記念の日に開催 第20回国内観光活性化フォーラム in なら 建国の地・奈良から新たな旅立ち



開会式 なら100年会館(奈良市)

令和8年2月11日
(水・建国記念の日)正午
過ぎから、奈良市の「なら100年会館」にて「第20回国内観光活性化フォーラム in なら」が当協会主催・(株)全旅共催により開催され、ANTA会員及び観光関係の行政機関・自治体・団体企業など、約1300人が一堂のもと会し、奈良観光の更なる発展と旅行・観光産業の飛躍に向けて大いなる邁進を誓い、決意を新たにす場となった。



フォーラムの開会を高らかに宣言する中島地元実行委員長

国内観光活性化フォーラムは当協会の最大事業で、地元行政との連携により、地域の観光資源のPRと需要創出、誘客促進を支援し、開催地の観光振興を図るとともに、会員間の結束強化を目的に、2003年から実施している。20回の節目を迎えた今回フォーラムは、我が国有史以来の悠久の都「古都奈良」において、「建国の地奈良からふたたび」をテーマに掲

げ、日本創生の舞台「大和の国・奈良」を起点に観光産業をより大きな躍進へ導く契機とするため、国交省・観光庁・奈良県・奈良市・県内自治体・関係諸団体の後援を得て開催の運びとなった。近畿圏では実に12年ぶりの実施である。

開 会 式

開会式の冒頭、奈良県支部長で地元実行委員会の中島昭人委員長が、大勢の来場者が見守る中、高らかに開会を宣言し、奈良フォーラムはスタートを切った。



主催者挨拶 近藤会長

主催者挨拶 近藤会長

ANTA会員結集に万感
古都奈良の魅力を堪能し事業
活動の糧に

近藤幸二会長が主催者挨拶に立ち、本フォーラムの開催に際して、多大なる協力を賜った国土交通省、観光庁、並びに奈良県、奈良市をはじめとする県内自治体、観光関係団体・企業等に対して手厚い謝辞を述べた。また、約1千社のANTA会員が一堂のもとに集集できた感激を語るとともに、成功に向けて尽力した地元実行委員会に敬意を表して、その労をねぎらった。今回の大会プログラムでは当地色が豊かな「会員と大学生との産学連携」や「パネル

ディスカッション」などを組み込んでいる特長を挙げ、本フォーラムが将来の旅行業を担う若者の人材育成に繋がり、会員が知らない奈良の魅力の奥深さに気付くことで、地域振興に資する足掛かりになると大きな期待を寄せた。

業界の最前線で陣頭指揮を執る二階俊博名誉会長が昨年、33年間にわたる会長職を勇退されたことに言及し、その重責のバトンを引き継ぎ、新たな決意を込めて「観光は、自動車輸出に続く基幹産業となるまでに発展した。まさに地域活性化の切り札であり、日本を支える成長戦略の柱。観光庁との緊密な連携のもと、ANTA会員が一丸となって前進し、観光立国の実現に向けて着実に歩んでまいりたい」と表明した。

最後に、各支部の運営や、コロナ期の融資返済等で依然厳しい経営下に晒される会員を憂慮した上で、「本フォーラムで古都奈良の奥深い観光魅力を堪能し、新たなビジネスチャンスを掴み取っていただき、事業活動の糧としてほしい」とエールを送った。

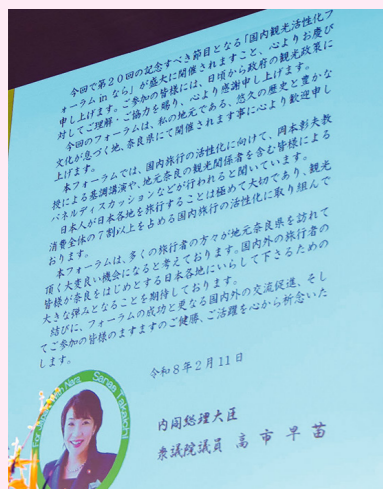
祝辞披露 高市首相

日本人が日本各地を旅行することは極めて大切

奈良県出身者で初の内閣総理大臣、そして史上初の女性総理である高市早苗首相からの祝辞が披露された。

〈高市首相メッセージ全文〉

今回で第20回の記念すべき節目となる「国内観光活性化フォーラム in なら」が盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。ご参加の皆様には、日頃から政府の観光政策に対してご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今回のフォーラムは、私の地元である、悠久の歴史と豊かな文化の息づく地、奈良県にて開催されます事に心より歓迎申し上げます。本フォーラムでは、国内旅行の活性化に向けて、御本邦観光振興を促進する観点から、観光関係者を含む皆様によるパネルディスカッションなどが行われると聞いています。観光関係者が日本各地を旅行することは極めて大切であり、日本人が日本各地を旅行することは極めて大切であり、観光資源のPRと需要創出、誘客促進を支援し、開催地の観光振興を図るとともに、会員間の結束強化を目的に、2003年から実施している。20回の節目を迎えた今回フォーラムは、我が国有史以来の悠久の都「古都奈良」において、「建国の地奈良からふたたび」をテーマに掲



高市首相からの祝辞が披露された

来賓挨拶 村田観光庁長官

次期観光立国推進計画では国内旅行の促進にも注力

観光庁の村田茂樹長官は来賓挨拶の冒頭、昨年の訪日外客数が過去最高の約4270



来賓挨拶 村田観光庁長官

万人、消費額も約9兆5千億円を記録したことに触れ、その上で観光産業は「地域活性化や日本経済の発展に不可欠」と位置付けた。

現在策定を進める次期の観光立国推進基本計画(第5次)では、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させる観光を目指し、新たな戦略に基づき「インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立」「国内交流・アウトバウンドの拡大」「観光地・観光産業の強靱化」を三本柱の施策に据え、「日本人の国内旅行の促進にも注力する」と報告。全国の観光地の魅力を熟知し、地域ネットワークを確立しているANTANA会員の躍動に大きな期待を寄せた。

また、来年3月に横浜市で開幕する「GREEN×EXPO 2027」の話題に触れ、「昨年



基調講演 岡本彰夫 春日大社元権宮司

す。本日はどうぞ有意義な一日をお過ごしください。ありがとうございました。

基調講演

「大和の旅記に載らない大和の神話を訪ねて」

岡本彰夫 奈良県立大学客員教授 授春日大社元権宮司

奈良県立大学客員教授で春日大社の岡本彰夫元権宮司の基調講演では、日常の中に神話や伝承が現代にも生きる奈良の旅の魅力が語られた。

緻密な調査と深い知識に基づく解説を加えながら、自身が出演するVTRの上映を交えて講演が展開され、真の観光を通じて日本人の精神性の再生を力強く伝えた。

(詳細・10頁)



歓迎挨拶 山下奈良県知事

大阪・関西万博は、旅行会社の協力を得て成功裏に終えられた。GREEN×EXPO 2027でも旅行商品の造成を通じて送客と機運醸成をお願いしたい」と支援の理解を求めた。

歓迎挨拶 山下奈良県知事

お願いは一つだけ 奈良旅行をガンガン売ってほしい

山下真奈良県知事が地元への歓迎挨拶に立ち、奈良観光の現状を詳説した。

令和6年の統計調査では、奈良に4362万人の旅行者が訪れ大きな魅力があると評価した。その一方で、奈良観光が抱える課題を「安い・狭い・浅い」と3つのキーワードを挙げた。ま

ず、1つ目の「安い」は「県内宿泊の旅行者が329万人で、全体内込客数の1割にも満たない。かつ一人あたりの消費額も5千円程度と全国平均の半額で最下位クラス」と宿泊客数を増加させる取組が喫緊の課題と訴えた。次に、2つ目の「狭い」は「せっかく奈良を訪れても、奈良公園周辺に集中する日帰り観光が大部分で、斑鳩や明日香村など県内広域の周遊が極めて少ない」と説明。そして、3つ目の「浅い」は、「滞在時間も短く、大仏や鹿などの浅い部分のみを観光魅力として捉えられがちで、奈良観光の奥深さが浸透しきっていない」と憂い、「奈良の魅力をもっと知ってほしい」と呼び掛けた。

他方では明るいニュースとして、最近の奈良の話題性の高さに着目した。高市首相の輩出をはじめ、今夏に控えた県下4番目の世界文化遺産を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の登録審議、大河ドラマ「豊臣兄弟」で主人公の豊臣秀長が拠点とした大和郡山城ほか県内ゆかりの観光スポット、大阪・関西万博に登場した外国人の周遊訪問先で奈良公園が首位となるなど、奈良観光にとって「追い風が吹いている」と期待を抱き、「魅力



奈良の各業種有識者5氏によるパネルディスカッション

パネルディスカッション

「奈良の魅力を大いに語る」

と題してパネルディスカッションが行われ、パネリストには春日大社元権宮司の岡本氏、ノブレスグループの川井代表、奈良県酒造組合の北岡会長、奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合の伊藤理事長、奈良県ビジターズビューローの竹田専務理事、

コーディネーターには(株)トラベルニュース社の奥坊社長が務めた。各業種の有識者5氏から奥底深い奈良の観光魅力が語られ、送客が呼び掛けられた。

(詳細・11頁)

歓迎挨拶 鈴木奈良市副市長

官民一体で奈良観光の質の向上と持続性の確保に取り組む

奈良市の鈴木千恵美副市長から、公務のため欠席となった仲川げん奈良市長の歓迎挨拶が代読された。

〈代読 奈良市長 歓迎挨拶〉

「第20回国内観光活性化フォーラムinなら」が、奈良市において盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただいた皆さまを心より歓迎いたします。

まずは、本フォーラムの開催に多大なるご尽力をいただきました全国旅行業協会をはじめ関係の皆さまに、深く感謝を申し上げます。日頃から地域の観光資源の発掘や新たな商品開発に取り組みされていることは、地域の活性化にとって大変心強いものでございます。

さて、昨年の大阪・関西万博は大盛況のうちに閉幕し、その期間中には多くの国内外の皆



歓迎挨拶 鈴木奈良市副市長

さまが奈良にもお越しくございました。しかし、ここで重要なことは「過性の集客で終わらせないことです。継続的な広域連携のもと、観光活性化に向けた具体的な施策を着実に形にしていこうと感じております。

こうした考えのもと、奈良市では、かねてより観光を地域の豊かさに資する持続可能な産業として育てるべく、「奈良市持続可能な観光アクションプラン」を策定しております。本アクションプランは、市内の自然環境や生物多様性の維持・保全、また歴史的・文化的・美術的に重要な有形・無形の資源を将来にわたって継承しつつ、その高付加価値化を図ることを柱としております。長期的に持続可能な経済運営を実現するために必要な取り組みを示し



入賞を果たした(株)シンファートの吉田 亮 代表取締役(中央)

表彰式

「全旅協 東京都送客キャンペーン」

11カ月間で約44万人を東京へ送客 前回の東京フォーラム(令和7年1月28日開催)で採択された目標を50万人とする「東京都送客キャンペーン」の優秀会

員表彰が行われた。同キャンペーンの表彰規程に基づき、東京都に旅行者を送客したランキング上位3社(最優秀会員・(株)日本エクスプローラーズトラベル(東京都)・5万1135人泊、優秀会員・(有)神洲トラベル(東京都)・2万9081人泊、準優秀会員・(株)シンファート

旅行企画学生発表

観光を学ぶ学生と奈良の新たな旅行商品を造成

産学連携

奈良女子大学×ANTANA奈良県支部・奈良県旅行業協会

ANTANA奈良県支部・奈良県旅行業協会では、本フォーラムでのエクスカーション実施にあたり、昨年4月から奈良女子大学との産学連携事業として、同大文学部の寺岡伸悟教授(観光学・社会学)の指導のもと、ANTANA会員が「なら学演習」の講座講師を受け持ち、履修登録した約40人の学生に助言を行いながら、奈良の新た



奈良女子大学の寺岡教授(右)と履修した学生たち 産学連携の講義・演習を通じて新たな奈良観光商品を造成



閉会式 松嶋副会長

松嶋副会長
フォーラムの盛会・成功を厚謝
松嶋洋副会長より閉会挨拶がなされ、格別のご協力を賜った奈良県や奈良市をはじめとする関係行政・自治体に感謝の意を伝え、そのひとかたならぬご支援と、日夜準備に尽力した地元実行委員会のお陰で大盛況を博し、想像を超える素晴らしいフォーラムを実施できたことに最高の賛辞を送った。

閉会挨拶では「本フォーラムのご講演・議論を通じ、国内観光の新たな可能性や地域連携の重要性を改めて共有することができた」とし、「節目となる20回目を奈良で開催できたことは、今後の観光産業にとっても大きな意義となる」と語った。

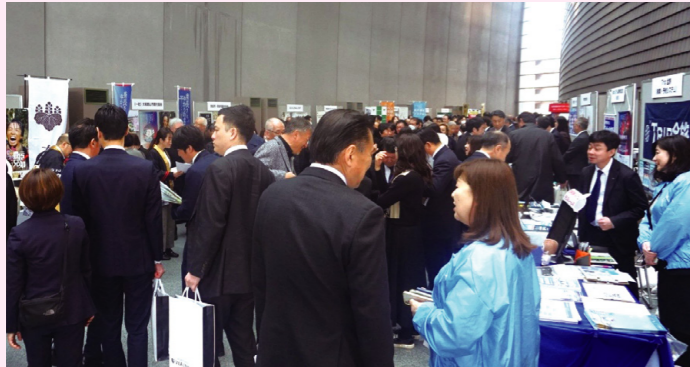
閉会式



堀井啓孝氏(やまとびとツアーズ) 会員講師の中心的役割を務めた

な観光資源の発掘と、それらを活用した着地型旅行商品の開発に取り組んだ。学生が持つ若者ならではの自由で斬新な発想や新たな着眼点で企画を考案することで、故郷・奈良の観光への関心を高めることもねらいとした。ANTAA会員もグループディスカッションに加わり、企画内容の磨き上げを行い、実現性と安全性を検証の上、具体的な旅行商品として完成させた。

当日の会場には、寺岡教授と学生2名、講座講師を受け持つ会員の中心的役割を担った堀井啓孝氏(やまとびとツアーズ)が登場し、「なら学演習」の講座を通じて学んだ所感が語られた。学生は「他人に旅の楽しさを提供するという考え方が難しかったが、地元の観光地を組み合わせるツアーを造



来場者で賑わうブースコーナー

最後に「本日の成果が観光業界全体にとって、新たな挑戦と連携の原動力となり、国内観光の更なる活性化へと結びつくことを大いに期待している。この学びを明日の連携へとつなげていただきたい」と締めくくり、来年2月開催の宮城フォーラムでの再会を誓い、大会プログラムをのべて終了、奈良フォーラムは盛況のうちに幕を閉じた。

ブースコーナー

53社(者) 55小間が出展

なら100年会館内の会場各所に、奈良を中心とする全国

奈良県送客キャンペーン

村山副会長
ANTAA会員から10万人の送客・誘致を目指す
村山吉三郎副会長から、この度の奈良フォーラムの開催を契機として、奈良の観光をさらに盛り上げるべく、会員5400

成することがとても新鮮だった」と話した。また一方の学生は「旅行会社の方がどのような思いでツアーを造成しているかを知ることができる貴重な学びの場だった。自分自身が行きたい場所と、ツアーに組み込む場所とのギャップを埋めることが難しかった」と感想を語った。

寺岡教授からは「旅行会社の方を実際に招いて、全14回にもわたり講義をしていただくのは、初めての試みであったが、受講希望者が例年の2.5倍となるなど、学生の関心が非常に高かった。この講座を通じ、旅行会社の考え方を理解することができて、旅行業への理解が深まり、通常の授業では得がたい素晴らしい経験となった」と語り、「今回のような旅行会社と学生が協力して進める産学連携講座を、奈良のみでなく、全国各地の大学でも実践してもらいたい」と普及を呼び掛けた。

引継式

そして「都の都・仙台」へ
令和9年2月に開催予定
次回フォーラム宮城大会への引継式が行われ、近畿地方支部長連絡会の中島議長から東北地方支部長連絡会の菊地洋議長に大会旗が引き継がれた。尾口正則宮城県支部長から

社の総力を挙げて、「奈良を行程に含むツアー」はもとより、「奈良を主な旅行目的地とし宿泊するツアー」の造成・販売促進に大いに取り組むべく、2月11日から12月までの11ヵ月間、奈良県への送客・誘客目標を10万人とする「全旅協奈良県送客キャンペーン」の展開が提案され、賛同の拍手のもと満場一致で採択された。



奈良県送客キャンペーン提案 村山副会長



奈良県



奈良市観光協会



奈良県大河ドラマ「豊臣兄弟」観光推進協議会



福原市観光協会

の観光地や自社商品をPRするブースが設けられ、県内外の自治体・団体・企業の53社(者)55小間が出展した。ブースは当日10時半から終日オープンし、40分間のブース見学時間には、大勢の来場者がブースを訪れ、活況を呈し大いに賑わった。

オープニングアトラクション



オープニングアトラクション 倭-YAMATO(和太鼓集団)

倭-YAMATO
世界を旅する和太鼓集団
開会に先立つオープニングアトラクションでは、和太鼓集団「倭-YAMATO」による大迫力の演奏パフォーマンスが披露された。世界55カ国で公演された圧巻のステージは、観衆と一体感呼び起こし、万雷の拍手とともに、会場の熱気は最高潮に達した。



大会旗は近畿から東北支部長連絡会へ

功を祈願し、日本最古の神社の一つとされる石上神宮の御守りが贈られた。

宮城フォーラムは、令和9年2月4日(木)に仙台市内で開催される。



宮城フォーラムへの来仙を呼び掛ける尾口支部長と宮城県支部会員

は「今回は伊達政宗公が愛した都の都・仙台での開催。東北のゲイトウェイ宮城県として、会員の皆様がすぐに販売できるよ



大勢の来仙を呼び掛ける尾口宮城県支部長(左)

うな新しい観光コンテンツをたくさん揃えてお待ちしている」と抱負を語り、壇上に並んだ宮城県支部会員とともに、大勢の会員、来仙を期して、キャッチフレーズ「伊達なみやぎに愛に来て」と出陣の声を上げた。また、奈良県支部長の中島議長から、宮城での成功を祈願し、日本最古の神社の一つとされる石上神宮の御守りが贈られた。



共催者挨拶 中間 (株)全旅社長



乾杯挨拶 小谷野JATA副会長



奈良酒での鏡割り



閉会挨拶 吉村副会長・本部実行委員長

エンターテイメント・アトラクション



第20回 国内観光活性化フォーラム in なら 懇親交流会

懇親交流会 ホテル日航奈良



開会宣言 中島地元実行委員長



主催者挨拶 近藤会長



歓迎挨拶 西村奈良県副知事

懇親交流会

観光関係者間での交流を深める
フォーラム大会の閉会後の

夕べ、懇親交流会がホテル日航奈良で催され、約610名が参加した。オープニングの歓迎アトラクションでは、天理高校雅楽部が、1300年以上の歴史

を持ち世界最古のオーケストラとも称される日本独自の伝統楽器の演奏を披露。悠久の時間を感じさせる幽玄さが会場に漂う中、懇親交流会は幕を開けた。

開宴に先立ち、中島地元実行委員長が開会宣言を表明し、近藤会長による主催者挨拶、(株)全旅の中間幹夫代表取締役社長による共催者挨拶、西村高則奈良県副知事による歓迎挨拶がなされた。その後、当地銘柄の奈良酒樽での鏡割りが行われ、(社)日本旅行業協会(JATA)の小谷野悦光副会長(株)日本旅行取締役(会長)が乾杯挨拶に立ち、吉野杉の枡で祝杯を上げた。

3会場に分かれて催された交流会は、大和まなや苺の古都華、柿の葉寿司、三輪素麺など、奈良の食材や特産品などをふんだんに使ったコース料理が振る舞われ、終始にぎやかなひとときとなった。その合間には、OSK日本歌劇団OGによるミュージカル「古代絵巻」が公演され、古都奈良の歴史舞台を描く煌びやかなレビューが来場者を魅了し、懇親の宴に華麗さを添えた。

締め括りは、吉村副会長から閉会挨拶がなされ、盛会のうちにお開きの時を迎えた。



「観光資源の宝庫」奈良の魅力を大いに語る

「奈良の魅力を大いに語る」と題してパネルディスカッションが行われ、パネリストには、奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合の伊藤隆司理事長、奈良県酒造組合の北岡篤会長、奈良県ビクターズビューローの竹田博康専務理事、ホテル業・不動産業等を束ねるノブレスグループの川井徳子代表、奈良県立大学客員教授で春日大社元権宮司の岡本彰夫氏が席に着いた。コーディネーターは、(株)トラベルニュース社の奥坊一広社長が務め、「来場者の皆様にとって、こんな奈良は知らなかった、ぜひ奈良に送客したい



(株)トラベルニュース社の奥坊社長がコーディネーターを務めた



ホテル生活衛生同業組合 伊藤理事長

という、気づきの話をうかがいたい」と端緒を開いた。奥坊氏より「奈良の宿泊客は関東からが多く、また修学旅行の利用が多いというイメージがある」との投げかけに対し、伊藤氏は県内の宿泊状況について「昔も今も宿泊率の低さは、永遠の課題」と答えた。現況に関しては「コロナ後、宿泊施設数や宿泊者数は回復しているものの、修学旅行に依存している面が多分にあるため、今後も超少子化の加速で学生が激減する」と懸念。「家族・カップルの記念日を目的とする滞在型旅行が増えていくことから、ラグジュアリーホテルなど出店も計画され、既存の宿泊施設も改修を行って」と教育旅行だけに頼ら



奈良県酒造組合 北岡会長

ず「高付加価値化」を目指す姿勢が語られた。放映中の大河ドラマ「豊臣兄弟」にも登場する「織田信長が奈良酒を好んだ」というエピソードや「奈良は日本清酒発祥の地」であることに触れ、その魅力を尋ねられた北岡氏は「県内にバラエティに富んだ28の酒蔵がある」と紹介。「他地域の有名酒造地は一極に集中しているが、奈良は県内広域に点在しており、多様性に富む個性的な酒造りで面白味がある」と説明した。一方で「そのため商品の品質や評価を得る農林水産省の『地理的表示(GI)保護制度』の取得が困難」と明かし、ブランディング化への取組として「約30年前から、かつて織田信長が安土城



春日大社元権宮司 岡本彰夫

基調講演「大和の旅 記紀に載らない大和の神話を訪ねて」

奈良県立大学客員教授で春日大社元権宮司の岡本彰夫氏による基調講演では、日常の中に神話や伝承が現代にも生きる奈良の旅の魅力が語られた。緻密な調査と深い知識に基づく解説を加えながら、本人が出演するVTRの上映を交えて講演が展開され、真の観光を通じた日本人の精神性の再生を力強く伝えた。岡本氏は冒頭、「戦乱などによって、他の地域は歴史が断絶されていることが多いが、この奈良は現在まで連続と歴史を保持し続ける稀有な地で、それが大きな特長」と切り出した。「大和地方では、古事記や日本書紀な

どの文献にも載っていない祭りや仏教儀式、技術などが、人から人へと口伝で受け継がれ、民衆レベルでも歴史が繋がっている」とし、地元の人々が大切にしてきた伝承や、歴史の重み、その深さを語った。神武天皇にまつわる所伝から名付けられた地名や、聖徳太子の愛犬・雪丸が眠る犬塚、蘇我入鹿の首が中臣鎌足を追いかけて落ちた場所、無念を思いう入鹿の首が飛んできた地、伊勢神宮を建立したとされる垂仁天皇の皇女・倭姫命が伊勢を目指した旅など、各地の逸話が紹介され、「今でも伝承や神話が昨日の出来事かの如く語られる」と加えた。

倭姫命が旅をした御事蹟をはじめ、春日大社第一殿の御祭神・武甕槌命が茨城の鹿島神宮から白鹿に乗り大和まで来られた御由緒、白山神社の御旅所など、複数の古伝を挙げ、「旅は神事」と主張した。神話に登場する神々が旅をする理由として「かつての旅は命懸け。旅をすることで世俗のしがらみを離れ、身も心も解放される。ひとりに

なり己を省みて、新たな生き方に気付く、人生が変わる絶好の機会となる」と40年かけて岡本氏が辿り着いた結論を説き、「神が旅をする観念こそが、日本人が旅に固執し精神性を形成してきた」と紐解いた。

また、「観光の『観』の字は、訪れた先の表面だけ物見遊山で見物するのではなく、『皮脳同根』(皮膚の発達したものが脳という意)の言葉のように、身体で感じる体験」と説き、「その土地の奥にあるもの、心底に流れるものを感じ取り、見えないものを観る覚醒の契機」と「真の観光」の必要性を訴え、旅を通じて心の豊かさを追求することを提案した。

春日大社に奉納される燈籠において、かつては「商売繁盛」ではなく「諸国客衆繁盛」を刻み、先義後利の理念で顧客や取引先の繁栄を願ったと時代の変容を憂いた。続けて、「日本人が捨ててしまったもの。それは誇り、恥、たしなみ」と列挙し、「誇りを捨てる」と自信がなくなり、自信がなくなると正しい判断ができなくなる」と説いた。「皆の幸せを考えた言動や商売、つま



VTRを交えて詳解された基調講演

「国益」にそぐう行動をしなさいといけな」と強調。「日本人の本来あるべき姿の道徳観に戻るには、国内旅行で日本の真の姿を知り、誇りを持つこと」とした上で、「古えの人々の功績を今も称え、悠久の歴史が生きる奈良は、その最適の場所だ」と当地の強みを語った。最後に、「誇り・恥・たしなみの3つをなんとか取り戻し、皆様のお力で、日本をもとの素晴らしい民族にしたい。自分の生まれ育った故郷、先祖・友人・家、そして職業に誇りを持つてほしい。日本人に気付きを与える、覚醒させるのは『旅』しかない」と訴え、「旅に携わる仕事は極めて尊い」と旅に従事するANTA会員に大きな期待を込めて激励の言葉を送り、講演を終了した。

で徳川家康を歓待する時に取り寄せた奈良の酒『菩提酛』を再現し、各蔵元が母酒から先の色々な味を造っている」と経緯を説明した。

竹田氏は「観光は光を観る」と書くが、奈良ほど相応しい地はない」とし「奈良は観光産業が一番の根幹にある」と強調。「奈良においては、1次産業（生産）・2次（製造・加工）・3次（流通・販売・サービス）を6次産業化（1×2×3×6）することが重要」と論じて、「そこには暮らし・営み・折りがあふれる。観光は地域との交わりや共感が大切」と説明した。また、県内4番目の世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録への期待や本年の大河ドラマの舞台になるなど、



(一財)奈良県ビジターズビューロー 竹田専務理事

注目を集める奈良の観光PRに関して取組を問われ、「テーマに沿ったブランディングを進め、ターゲットをしっかりと考えながらそこに「光」を当て、お客様を呼び込むことができるのも良い機会」とした上で、「本県全体を周遊してもらえ、仕組を作り、早め早めのプロモーションに努めたい」と抱負を述べた。

奈良が歴史や文化の原点を担う「日本始祖の地」との観点から意見を求められた川井氏は、「奈良の素晴らしさは世界文化遺産ひとつ取っても豊富さと歴史の奥深さがあること。それらは日本国内でずば抜けている。さらに、和紙・和食・伝統的造りや建築の技術などの無形文化遺産も奈良とのかかわりが深い」と日本の食文化など多くのルーツを持つことが説明された。「ガストロノミー」とは「ワインとフランス料理をセットで楽しむスタイルで、フランスの無形文化遺産として登録されている」と本来の概念を説明する一方で、大神神社の「うま酒」と和歌で詠まれた古代から室町時代の清酒製法の祖「南都諸白」など、奈良が日本酒の起源である歴史を辿り、「古来から日本人も酒宴や正月など日本酒と和食と一緒にいただいた



ノブレスグループ 川井代表

た。それはまさしくガストロノミーの原点。旅行先で楽しめば、ガストロノミー・ツーリズムの最初。その始まりの原点は日本にある」と説き、このアピールを行っていると言われた。また、奈良県ビジターズビューローとの共同で、「日本酒発祥の地と謳い、酒と和食を楽しむ旅のカタチをガストロノミー・ツーリズムとして提案する活動を行っている」と報告した。

奥坊氏は、岡本氏から以前うかがった欧米メディアが衝撃を受けたエピソードとして「奈良公園で大きな角の鹿が小さな女の子に向かって来る状況を目の当たりにして、とても危険で考えられない」と話を振り返った。岡本氏がその顛末を語り「助けるべきか固唾を飲ん

で見守っていたら、そのままずれ違い、どちらも振り返らなかった」と、これこそ奈良の日常的光景の好例だと挙げた。奈良観光の真骨頂として「自然と動物、人間が共存している奈良公園のような風土を有する土地は稀有。千年を超える歴史の中で、培ってきた結果がそういった光景に表れている。永い年月を費やして成り立ってきたものを活用できるのが最大の強み」と語り、自然・神仏・人間・動物が見事に調和する奈良の圧倒的な魅力を説いた。

後半のディスカッションでは話を広げ、具体的な取り組みにトピックが移った。奥坊氏より、コロナ禍の際に、あまりつながりのなかった奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合とANTA奈良県支部・奈良県旅行業協会との連携による奈良観光を盛り上げる懇談会が発足したが、その懇談会の今後に関して協働の展望などが問われた。伊藤氏から「奈良でもOTAの台頭が目立っているが、それはあくまで個人旅行ベースでの現象」とした上で、「団体旅行の手配は、依然として旅行会社に強みがある」と語った。ただ、昨今の貸切バス運賃の値上げに言及し、「団体旅行を実現するためのバ



岡本 春日大社元権宮司

北岡氏は「大阪・関西万博の開催に際して、経済産業省から関西ブランドをつくるということ、奈良酒を立ち上げ、商標登録を昨年取得できた」と報告。全国で展開される「酒蔵ツーリズム」への取り組みを問われ、「元々はインバンド向けであったが、国内用売り出す場合でも、奈良には、他地域のようにお城みたいな酒蔵や展示館はない。そして自治体の技術指導などで同じ味の酒を造るのではなく、それぞれが手作りなので、じっくりと間近で見学できる」と楽しみ方を語った。「以前、ツアー実施の実現性に関する調査を行ったところ、貸切バスの駐車場を持つ蔵元は3軒ほどなので、タクシーやマイクロバス等を利用し巡っていた方がいい」と助言。「蔵元が県内各地に点在し、その周辺には世界遺産があるので、世界遺産とつなげると、奈良らしい酒蔵ツーリズム・地酒ツーリズムとなる。それぞれ趣の違った酒蔵ばかりなので、農泊や地元食材の料理店とのセットも面白い」とツアーのイメージを披露した。

宿泊客数の増加策を問われた竹田氏からは「奈良公園周辺のみが日帰り旅行のオーバートーリズムに偏る中で、大河ド

ラマや世界遺産などをフックに、通り過ぎるような観光ではなく、しっかりとガイドして、長期間にわたり滞在いただける観光を目指したい」と語られた。また、周遊観光の積極的な仕掛けとして「県内の市町村単位で観光を考えるのではなく、エリアの奈良県と捉え、三重県や和歌山県との合同で、紀伊半島という広域において、観光庁のモデル地域にも選定され、ロングバケーションを促す取り組みを進めている」と報告された。

奈良でのガストロノミー・ツーリズムの必要性の問いかけに対し、川井氏からは「感情を揺さぶる体験は深い観光にある」と先に結論を述べた。共同企画で昨年実施した「三島由紀夫を歩く旅」として、大神神社の御神体の三輪山への登拝体験や「豊饒の海」の率川神社の参拝を行ったツアー、さらには、地域の食文化や食材、歴史、風土を深く体験する観光商品として、春日大社の酒殿で、管理者の酒蔵会社が酒造りを解説するツアーを実施したことを紹介した。後者のツアーでは「神々に供えたお下がりを人が共有し、霊的な加護や恩恵を授かる『神人共食』の儀式を体験できる。神仏と一緒に食

事をいただく有り難い体験。その得がたい経験こそがガストロノミー・ツーリズムの本質だ」と奈良が持つ卓越した魅力を語った。

岡本氏は、観光地における人材育成のあり方について「観光の究極は人。人材の育成なくして観光は成り立たない。その土地の文化や歴史を語れる人でなければならぬ」と明言した。インバンド旅行者への対応にも言及して「せっかく日本に来ていただいたのだから、日本は素晴らしいと気付いて、お帰りいただきたい。それこそが国益」と述べ、「例えば、たしなむ」という言葉が英訳できないように、日本独自の文化は翻訳が困難。日本の文化を熟知した人でなければ言葉も通じない」と具体的に示した。伝教大師の言葉「二隅を照らす」（自分がいるその場所ですら分らなく輝き、他の人や社会のため一所懸命に努力するの意）を引き、「観光とは積み重ね、人材育成を一つ一つの地方で取り組んでいくことが極めて重要だ」と結んだ。

*奈良フォーラム大会誌(参照14頁)にも、川井徳子様、北岡篤様、伊藤隆司様へのインタビュー記事等が掲載されておりますので、併せてご覧下さい。



観光を学ぶ学生と奈良の新たな旅行商品を造成

産学連携 奈良女子大学 × ANTA奈良県支部

奈良県支部・(一社)奈良県旅行業協会では、本フォーラムでのエクスカージョン実施にあたり、昨年4月から奈良女子大学様との産学連携事業として、同大文学部の寺岡伸悟教授(観光学・社会学)の指導のもと、ANTA会員が「なら学演習」の講義を受け持ち、履修登録した約40人の学生に助言を行いながら、奈良の新たな観光資源の発掘と、それらを活用した着地型旅行商品の開発に取り組みました。

学生が持つ“若者ならではの”自由で斬新な発想や新たな着眼点で考案し、ANTA会員もグループディスカッションに加わり企画内容の磨き上げを行い、実現性と安全性を検証の上、具体的な旅行商品として完成に至りました。

学生の皆さまが企画した旅行プランのうち、奈良フォーラム開催期間中に実施された2ツアーを本誌にて紹介いたします。また、大会誌(P.●●参照)に計10ツアーを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

— 宇陀 — course

【奈良女子大学との共同プロジェクト】

～週末、わたしを整える～ 薬膳×薬草の宇陀デイトリップ 宇陀地域の薬草文化に焦点を当て、心身の健康をテーマとするツアー

忙しい日常を少しだけ離れて、自分自身の心と体に向き合う時間を過ごしてみませんか？ 古くから「薬のまち」として栄え、日本書紀にもその名が記される奈良県・宇陀(うだ)。この地には、自然の力で健やかさを取り戻す、先人たちの知恵が今も息づいています。



日帰り

旅行代金 (大人おひとり様)

7,000円(昼食付き)

スケジュール

JR奈良(9:00)・近鉄奈良(9:10) === 『宇陀松山』(森野旧薬園、料理旅館 今阪屋、薬の館、松山西口関門) === 墨坂神社 === JR奈良(16:00)・近鉄奈良(16:10)

●定員：15名 ●最少催行人員：10名

— 月ヶ瀬 — course

【奈良女子大学との共同プロジェクト】

昔ながらの茶畑で味わう、奈良のやすらぎ時間 月ヶ瀬・田原地区の特産品である大和茶の魅力体験するツアー

奈良の風景に溶け込む美しい茶畑と、古都が育んだ茶の湯の心。その両方を深く味わう、大人のためのバスツアーです。産地・月ヶ瀬の自然から寺院での一服まで、五感で楽しむ「大和茶」の旅へご案内します。



日帰り

旅行代金 (大人おひとり様)

12,000円(昼食付き)

スケジュール

JR奈良(9:00)・近鉄奈良(9:10) === 称名寺 === ロマントピア月ヶ瀬(茶畑見学・利き茶体験) === 梅の郷月ヶ瀬温泉(昼食) === 慈光院 === JR奈良(16:30)・近鉄奈良(16:40)

●定員：15名 ●最少催行人員：10名

全旅協「奈良県送客キャンペーン」実施のご案内

奈良送客支援 ご協力をお願い

当協会では、本フォーラムの開催を契機として、奈良の観光をさらに盛り上げるべく、本年12月末まで同県への送客目標を10万人とする「全旅協 奈良県送客キャンペーン」を以下の要領で実施しております。会員の皆様におかれましては、集計対象となる「全旅保険」「全旅クーポン」をご利用のうえ、「奈良を宿泊地とするツアー」または「奈良を目的地に含むツアー」の造成・販売促進に積極的にご協力いただきたく、奈良への一層の送客支援を賜れますよう、何卒よろしくご協力申し上げます。



1.対象旅行 奈良県内を目的地に含む宿泊旅行または日帰り旅行

2.実施期間 令和8年2月～12月末までの11か月間

3.集計対象 本キャンペーンは、「全旅保険」「全旅クーポン」をご利用いただければ、自動エントリーとなりますので、応募手続等はとくに必要ありません。

(1)【全旅保険】(旅行災害補償制度・学校旅行総合補償制度・インバウンド旅行補償制度)を利用した奈良県内への旅行・日帰り旅行の場合は、ランキング集計において、送客人数を2分の1として算出します。

(2)【全旅クーポン】奈良県内宿泊施設の宿泊クーポンの発券

4.表彰状・記念品の贈呈

上記の旅行を実施したANTA会員の中から、送客人数の多かった上位3社の入賞会員に対して、表彰状及び記念品を贈呈いたします。入賞会員については、令和9年2月開催予定の「第21回 国内観光活性化フォーラム in みやぎ」で発表し、同フォーラムにて表彰式を執り行う予定です。

①最優秀会員(第1位): 表彰状及び記念品5万円相当 ②優秀会員(第2位): 同3万円相当 ③準優秀会員(第3位): 2万円相当

奈良フォーラム大会誌のご紹介



奈良フォーラム当日に来場者の皆様に配付を行った「大会誌」をANTAサイトで公開しております。

古都奈良は、我が国の有史以来、悠久の時代を紡ぎ、自然美が四季の彩りを添え、天平の都を現代(いま)に伝える観光・文化資源の宝庫で、まさに「日本建国の地」です。

本フォーラムテーマでもあるそのコンセプトのもと制作された大会誌では、当日のパネルディスカッションに登壇された討論者への巻頭インタビューをはじめ、実際に現地で開催された厳選のエクスカージョンコース、観光を学ぶ奈良女子大の学生による旅行プラン発表のほか、大河ドラマ『豊臣兄弟!』主人公の豊臣秀長の居城とした大和郡山や、今夏に県内で4番目の世界文化遺産を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の特集、ブース出展者並びに県内各地の市町村が推す見どころ観光スポット情報の紹介なども掲載しております。

本年はひととき話題性が高く、国内外から注目を集める奈良の観光。会員の皆様におかれましては、商品造成・販売、ご送客の一助として、本大会誌をご活用いただければ幸いです。



<大会誌ダウンロード>

https://www.anta.or.jp/20th_forum/



第26回支部長連絡会 (令和8年3月12日)



第218回理事会 (令和8年3月11日)

《本部会議 実施報告》

理事会

第218回理事会

日時…令和8年3月11日
会場…ANTA本部会議室
出席者数…26名

議事

- (1) 令和8年度事業計画(案)
- (2) 令和8年度収支予算(案)
- (3) 規程の一部改正(案)
- (4) 研修支出基準の改定(案)
- (5) カスタマーハラスメントに対する基本方針(案)
- (6) 支部長の選任(案)
- (7) 運営委員の選任(案)

議事結果

原案どおり、承認された。

常任理事会

第64回常任理事会

日時…令和8年1月15日
会場…ANTA本部会議室
出席者数…17名

議事

- (1) 令和8年度予算編成の基本方針(案)
- (2) 新規入会申込者(案)

議事結果

原案どおり、了承された。

第65回常任理事会

日時…令和8年3月3日
会場…ANTA本部会議室
出席者数…18名

議事

- (1) 令和8年度事業計画(案)
- (2) 令和8年度収支予算(案)
- (3) 規程の一部改正(案)
- (4) 研修支出基準の改定(案)
- (5) カスタマーハラスメントに対する基本方針(案)
- (6) 支部長の選任(案)
- (7) 運営委員の選任(案)
- (8) 新規入会申込者(案)

議事結果

原案どおり、了承された。



開会挨拶をする村山副会長 (第218回理事会)



開会挨拶をする近藤会長 (第64回常任理事会)

第26回支部長連絡会 第16回支部事務局長会議 第48回弁済業務副管理役会

第26回支部長連絡会

日時…令和8年3月12日
会場…都市センターホテル(千代田区)
出席者数…54名(近藤会長、吉村副会長、村山副会長、松嶋副会長、菅井専務、監事2名、支部長47名)

第26回支部長連絡会が、令和8年3月12日に東京都千代

田区の都市センターホテルで開催され、会長、副会長、専務理事、監事、支部長の総勢54名が出席した。

近藤会長による開会挨拶、(株)全旅の中間代表取締役社長による来賓挨拶がなされた後に、本部から、令和8年度事業計画(案)、令和8年度収支予算(案)、「第20回国内観光活性化フォーラム in 21回国内観光活性化

ら」の開催報告、「第21回国内観光活性化

化フォーラム in みやぎ」の準備状況、各常任委員会の活動報告、令和8年度会長表彰申請者の報告、令和7年度会議開催年間スケジュールの報告、令和8年度協会会費の請求、令和7年度支部活動の主な内容について報告がなされた。

最後に、吉村副会長から開会挨拶がなされ、第26回支部長連絡会は終了した。



開会挨拶をする吉村副会長 (第16回事務局長会議)



開会挨拶をする三好総務財務委員長 (第16回事務局長会議)

でかけよう日本！ 新しい旅のスタイルで



— ANTAは安全・安心な旅行を提供し全国各地の元気を取り戻します —

観光振興応援
キャンペーン実施中



全国47都道府県5300の旅行会社が加盟しています
一般社団法人 **全国旅行業協会**
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

後援



観光庁
Japan Tourism Agency



第16回支部事務局長会議 (令和8年3月19日)



開会挨拶をする松嶋副会長
(第48回弁済業務副管理役会)



閉会挨拶をする荒井苦情弁済委員長
(第48回弁済業務副管理役会)

第16回支部事務局長会議・第48回弁済業務副管理役会
日時…令和8年3月19日
会場…都市センターホテル(千代田区)
出席者数…54名(近藤会長、吉村副会長、菅井専務、三好総務財務委員長、荒井苦情弁済委員長、支部事務局長47名)

第16回支部事務局長会議及び第48回弁済業務副管理役会が、令和8年3月19日に都市センターホテルで開催され、支部事務局長等の総勢54名が出席した。支部事務局長会議では、近藤会長及び吉村副会長による開会挨拶がなされた後に、本部事務局各部の職員から令和8年度の業務に関する事項、(株)旅行ビジネスサポートの内田部長、良峯担当部長から各種補償制度の留意事項について、それぞれ説明がなされた。

続いて第48回弁済業務副管理役会が開催され、本部から苦情相談受付業務、弁済業務保証金分担金業務、認証業務について説明がなされた。



補償制度の説明をする(株)旅行ビジネスサポートの内田部長

標準旅行業約款の一部改正

改正医療法施行に合わせ、特別補償規程を見直し

観光庁は、令和8年3月9日付で標準旅行業約款の一部改正を公示した。施行日は同年4月1日。今回の改正は、同日に施行される「医療法等の一部を改正する法律（令和7年法律第87号）」の内容に準拠したもので、「特別補償規程」における通院見舞金の支払い対象が明確化された。

これまで解釈運用に委ねられていた「オンライン診療」が、改正法により医療法上で正式に定義されるとともに、患者がオンライン診療を受ける場所を提供する「オンライン診療受診施設」が新たに規定されることとなった。

これを受け、観光庁は旅行業約款の「特別補償規程」の一部を見直し、旅行者が旅行中に被った傷害に対し、オンライン診療を利用した場合でも「通院」として見舞金の支払い対象に含めることを明文化した。詳細については、[当協会の会員専用ページ](#)をご参照のこと。

改正箇所（標準旅行業約款 特別補償規程第9条）

（改正前）

当社は、（中略）、かつ、通院（医師による治療が必要な場合において、病院又は診療所に通い、医師の治療を受けること（往診を含みます。）をいいます。（後略）

（改正後）

当社は、（中略）、かつ、通院（医師による治療が必要な場合において、病院、診療所又はオンライン診療受診施設に通い、医師の治療を受けること（往診 及びオンライン診療を含みます。）をいいます。（後略）

【本改正による留意事項】

1. 標準旅行業約款と同一の旅行業約款への変更

旅行者は、旅行業約款を、法第12条の2の認可を受けようとする場合（既に認可を受けている場合を含む。）を除き、改正後の標準旅行業約款（以下「改正標準旅行業約款」という。）と同一のものに変更すること。

また、法第12条の2の認可を受けた旅行業約款を使用している旅行者にあっては、認可を受けた規定以外の箇所については、今般の改正標準旅行業約款と同一のものに変更すること。

なお、法第12条の3のとおり、今般の改正標準旅行業約款へ変更したときは、法第12条の2第1項の規定による認可を受けたものとみなすため、新たな認可申請は要しない。

2. 旅行業約款の設定及び揭示

旅行者は、旅行業約款を改正標準旅行業約款と同一の旅行業約款（以下「新旅行業約款」という。）に変更する場合には、令和8年4月1日から、法第12条の2第3項に基づいて、営業所における揭示等を行うこと。

3. 新旅行業約款の適用

新旅行業約款は、令和8年4月1日以降に締結される旅行契約について適用すること。

従って、令和8年3月31日までに締結される旅行契約については、令和8年3月31日以降を旅行の出発日とする場合であっても、従前の旅行業約款を適用すること。

※ 詳しくは 部分をクリックしてください。なお、リンク先は会員専用のページとなっております。

令和7年度旅行業務取扱管理者定期研修（令和8年2月・3月）の開催

当協会では、旅行業務取扱管理者定期研修を本年2月に大阪府で、3月に東京都で開催するとともに、オンライン研修を2月25日（水）～3月10日（火）の期間で実施した。

定期研修は、旅行者者によって選任された旅行業務取扱管理者について、その職務に関し必要な知識及び能力の向上を図るため、5年ごとに受講することが旅行業法によって義務付けられており、ANTA及びJATAの両旅行業協会にて実施されている。

令和8年度の定期研修は7月頃から開催する予定。開催地、日程等の詳細については、決定次第、当協会ホームページに掲載する。

令和7年度 定期研修（令和8年2月・3月）実施結果

開催地	開催日	会場	申込者数	修了者数
大阪市②	2月5日（木）	エル・おおさか	57名	57名
東京都③	3月6日（金）	日本教育会館	68名	67名
オンライン③	2月25日（水） ～ 3月10日（火）	オンデマンド配信	485名	482名

近藤会長が令和7年度景品表示適正化功績者表彰を受賞

令和8年3月18日に消費者庁で、令和7年度景品表示適正化功績者表彰式が催され、当協会の近藤幸二会長が受賞の栄に浴した。

近藤会長は、平成27年に旅行業公正取引協議会の副会長に就任して以降、会長を補佐して同協議会の運営を主導し、旅行業界における適正な表示等を通じた消費者利益の確保と公正な競争の促進に多大な貢献をしたことが評価されての受賞となった。



受賞した近藤会長（右）と黄川田内閣府特命大臣（左）

(一社)福岡県旅行業協会

「GIシンポジウム」に参加
地域特有の魅力を発掘し着地型旅行の推進へ

（一社）福岡県旅行業協会では、福岡県への誘客促進及び観光の力による地域活性化を図るため、着地型旅行造成の促進に向けた取り組みを展開しております。



シンポジウムの様子

その一環として、令和8年3月6日に日本地理的表示協議会の主催で実施された「GIシンポジウム」GI制度10年の軌跡と未来戦略」に、木佐木副会長（福岡県支部長）が参加しました。GI制度とは、その地域ならではの特別な気候や伝統的な製法により高い品質と評価を得ていると国に認定された農林水産物・食品の総称です。それらの商品の価値を保護するため、2015年にGI保護制度が誕生いたしました。



連携事業者として受賞した木佐木副会長(右)

7年度受賞者の表彰式、交流会が執り行われました。連携事業者として受賞した木佐木副会長はGI制度について「GI制度はお客様に、その土地ならではの特別な食や農産物に興味をもっていたいただき、お金を出して楽しんでいただく動機付けになる制度」と観光産業への影響を評価するとともに、「お客様に着地型旅行を楽しんでいただくためには、旅行者がその土地の魅力を十分に理解していただかなければならない。福岡県旅行業協会としても、常に地元の魅力にアンテナを張り、会員に積極的に発信していきたい」と

意気込みを語りました。「着地型旅行」という言葉が生まれて長く経ちますが、いまだに取り扱っている旅行者は少数であるといわざるを得ません。福岡県旅行業協会では、引き続き、地域特有の魅力の掘り起こし、ANTAG会員による着地型旅行の推進し、地域活性化に努めてまいります。

全旅協 学校旅行総合補償制度

全旅協旅行災害補償制度に学校旅行総合保険の補償をプラス！

旅行参加者・学校・旅行会社を同時に守る補償制度です

主な特長・メリット

- 1 学校は別途の保険手配(学校旅行総合保険)が不要となり、手間が省けます
- 2 会員は必要な補償が完備した旅行をワンストップで提供可能となります
- 3 病気やけがにより治療を受けて旅行を離脱し、自宅に戻るための諸費用を補償します
- 4 熱中症による死亡・入院・通院も補償します

企画旅行L1000タイプの場合

補償内容の例	1人当たりの掛金例
特別補償 死亡後遺1500万円 ほか	旅行日程
傷害補償 死亡・後遺障害1000万円 ほか 手術・入院・通院 熱中症を新たにカバー	日帰りB 383円
個人賠償 5000万円 救援者費用 100万円	1泊2日 398円
学校緊急対応費用 30万円 学校賠償 対人対物5000万円 など	2泊3日 420円
重大事故対応特約つき 連絡専用デスクで専門家が会員をサポート	3泊4日 433円
	4泊5日 470円

申込方法 ◆契約エントリーシステムで24時間加入可能 **FAX不可** ◆お客様控もプリンターで発行できます ◆掛金は翌月一括請求 **前払不要**

旅行災害補償制度にはない補償が満載！

- **熱中症がケガ**と同様に補償されます **死亡後遺・入院・通院**
- **特別補償以外**にも**後遺障害**を補償
- 病気やけがで離脱し**自宅に戻る費用** **救援者費用**
- 学校が現地で支出する**交通費**等 **学校緊急対応費用**
- 参加者を守る**個人賠償 5000万円**が**標準装備**
- **レンタル品の弁償**にも適用される**学校賠償**

市販の学校総合保険よりも優れる点があります

- **学校**による**保険契約手続き**(押印・振込・名簿提出)が**不要**
- **ケガ**による**通院**を補償します
- **ケガ**による**入院**は**日額補償**です
- **救援者費用**が**100万円**以上の**大型補償**です
- **本人**の**宿泊費**1泊2万円まで補償します

この制度は、「損害保険」に「全旅協見舞金制度」を加えた独自の補償制度です。

国内旅行専用

全旅協 学校旅行総合補償制度

損害保険 + 全旅協見舞金制度

- この制度1つで「会員」「生徒」「学校」を幅広く補償します。
- ANTA会員専用 重大事故支援制度がセットされています。
- 全旅協保険契約エントリーシステムで申込できます。掛金は翌月払いです。

この制度は、「損害保険」に「全旅協見舞金制度」を加えた独自の補償制度です。このパンフレットは概要を説明したものです。詳細につきましては、取扱代理店である団体の代表者の方にお渡ししております。必要に応じて、団体までお問い合わせください。引受先：引受幹事会社 損害保険ジャパン株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社

引受幹事会社：引受幹事会社 損害保険ジャパン株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。(または詳しい内容についてはパンフレットをご参照ください。)

【全旅協】株式会社 旅行ビジネスサポート TEL 03-6272-9704
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSBビル3階(受付時間:平日の午前9時から午後5時30分まで) FAX 03-6272-9714

引受先：引受幹事会社 損害保険ジャパン株式会社 企業営業第八部第四課 〒103-8255 東京都中央区日本橋2-2-10(受付時間:平日の午前9時から午後5時まで) TEL 03-3231-2201 FAX 03-3231-7835
SJ24-06220 2024/10/21



旅行・観光消費動向調査

(2025年10-12月期 速報)

2025年10-12月期の国内旅行消費額は6兆3,022億円

日本人国内旅行消費額

2025年10-12月期の日本人国内旅行消費額は6兆3,022億円(前年同期比2.6%減)となった。
日本人国内旅行消費額のうち、宿泊旅行消費額が5兆1,337億円(前年同期比3.5%減)、日帰り旅行消費額が1兆1,685億円(前年同期比1.5%増)となった。

日本人国内延べ旅行者数、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行支出(旅行単価)

2025年10-12月期の日本人国内延べ旅行者数は1億2,757万人(前年同期比0.1%減)、うち宿泊旅行が7,092万人(前年同期比0.2%減)、日帰り旅行が5,665万人(前年同期比0.0%減)となった。

2025年10-12月期の日本人国内旅行1人1回当たり旅行支出(旅行単価)※は49,402円/人(前年同期比2.5%減)、宿泊旅行では72,385円/人(前年同期比3.4%減)、日帰り旅行では20,627円/人(前年同期比1.5%増)となった。

※1人1回当たり旅行支出(旅行単価)には、参加費、交通費、宿泊費、飲食費、買物代、娯楽等サービス費等が含まれる。

2025年 年間値

●日本人国内旅行消費額

2025年の日本人国内旅行消費額は26兆7,746億円(前年比6.4%増)となった。
日本人国内旅行消費額のうち、宿泊旅行消費額が21兆7,153億円(前年比6.8%増)、日帰り旅行消費額が5兆593億円(前年比4.9%増)となった。

●日本人国内延べ旅行者数、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行支出(旅行単価)

2025年の日本人国内延べ旅行者数は5億5,366万人(前年比2.5%増)、うち宿泊旅行が3億46万人(前年比2.5%増)、日帰り旅行が2億5,320万人(前年比2.6%増)となった。
2025年の日本人国内旅行1人1回当たり旅行支出(旅行単価)※は48,359円/人(前年比3.8%増)、宿泊旅行では72,273円/人(前年比4.2%増)、日帰り旅行では19,982円/人(前年比2.3%増)となった。

【観光庁による主要旅行業者への聞き取り】



海外旅行には

2つの補償制度をご利用ください。



企画旅行の特別補償に備えて会員を守ります。

全旅協 海外企画旅行補償制度

- 1 特別補償(死亡2,500万円/人)に備えて会員の事業を守ります。
- 2 重大事故時には安全サポート社が会員を支援いたします。

掛金例	
3日間	494円
5日間	775円
7日間	969円
10日間	1,129円



引受保険会社:引受幹事会社 損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社

お客さまを病気・ケガ・トラブルから守ります。

全旅協 サービス海外旅行補償制度

- 1 ネット加入保険並みの安価な掛金で大きな補償(治療費用&救済者費用が無制限、携行品50万円)。
- 2 お客様の年齢制限なし、旅行者の告知不要・署名押印など書類作成が一切不要。
- 3 加入はエントリーシステムで楽々入力、その場で損保ジャパン社の英文加入証を発行。
- 4 掛金は旅行代金(企画料・旅行取扱料金等)に含めて取り扱います。



掛金例(SK5タイプ)	
アジア4日間	3,260円
ハワイ6日間	3,930円
欧州10日間	5,080円

★保険代理店を兼業している会員もぜひご検討ください(販売ノルマなし)。
引受保険会社:損害保険ジャパン株式会社

2025年3月1日現在

旅行契約に応じたご利用方法

◎:加入必須 ○:加入は任意

補償制度名	旅行契約の種類			
	募集型企画旅行	受注型企画旅行	手配旅行	他社旅行商品の受託販売
海外企画旅行	◎	◎	加入不可	加入不可
サービス海外旅行	○	○	○	○

この制度は、「損害保険」に「全旅協見舞金制度」を加えた独自の補償制度です。

このチラシは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。(または詳しい内容についてはパンフレットをご参照ください。)

【全旅保険】株式会社 旅行ビジネスサポート TEL 03-6272-9704

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階(受付時間:平日の午前9時から午後5時30分まで) FAX 03-6272-9714

【引受保険会社:作成部店】損害保険ジャパン株式会社 企業営業第八部第四課

〒103-8255 東京都中央区日本橋2-2-10

TEL 03-3231-2201(受付時間:平日の午前9時から午後5時まで) FAX 03-3231-7835

SJ24-06220 2024.12.26

令和7年12月～令和8年2月 正会員入会者

登録日 入会日	登録番号	名称	代表者
R08.01.06 R08.01.20	熊本県 2-294	(株)再春館製菓所	西川 正明
R08.01.21 R08.01.21	沖縄県 3-517	(同)ライフジュニア日本語学院	國吉 健
R08.01.21 R08.01.27	沖縄県 2-518	(同)TASUKI	松田 一将

● 令和8年2月分

登録日 入会日	登録番号	名称	代表者
R08.02.04 R08.02.09	埼玉県 3-1361	Elite Tours(株)	岡田 英資
R08.02.05 R08.02.12	埼玉県 3-1363	(株)wins	中村 駿太
R08.02.20 R08.02.25	千葉県 2-1149	プラスナリタラボ(株)	福島 健之
R08.02.19 R08.02.19	東京都 2-8930	シマダトラベルパートナーズ(株)	栗原 茂行
R08.02.19 R08.02.19	東京都 2-8932	JTN COMMERCE(株)	藤川 拓馬
R08.02.19 R08.02.27	東京都 2-8933	TSP太陽(株)	池澤 嘉悟
R08.02.19 R08.02.19	東京都 3-8934	(株)ミーティング・インフォメーション・センター	斉藤 正巳
R08.01.28 R08.02.09	岐阜県 3-393	(株)2L	横田 和磨
R08.02.03 R08.02.12	京都府 2-1073	(株)ウイング	古賀 太志
R08.02.09 R08.02.19	島根県 3-119	(株)graphs	藤村 一行
R08.02.05 H21.06.01	栃木県 3-765※	シルクトラベル	福田真由美

登録番号の※印は当協会制度の「会員資格継続」による入会者を示す。



● 令和7年12月分

登録日 入会日	登録番号	名称	代表者
R07.11.25 R07.12.03	北海道 2-935	(株)札幌ドーム	阿部 晃士
R07.12.04 R07.12.11	北海道 3-938	Explore Niseko(株)	ホフ グレゴリー
R07.12.08 R07.12.15	青森県 2-167	いやさか自動車(株)	田村 友和
R07.12.01 R07.12.02	茨城県 2-717	(株)Be-World	小川 拓矢
R07.12.03 R07.12.11	埼玉県 3-1359	(株)Butterfly Ridge	田口 直己
R07.11.28 R07.12.01	千葉県 3-1144	(株)南房コーポレーション	瀬戸川賢二
R07.12.05 R07.12.16	千葉県 3-1146	(株)GLT	金 英姫
R07.12.04 R07.12.15	千葉県 2-1147	(株)来来商事	刘 趙華
R07.12.11 R07.12.11	東京都 3-8896	(株)ティケイトラベルジャパン	阿部 辰彦
R07.12.11 R07.12.16	東京都 2-8899	(株)SANU	福島 弦
R07.12.18 R07.12.22	東京都 2-8900	日立自動車交通(株)	佐藤 雅一
R07.12.18 R07.12.19	東京都 3-8902	(株)エブリワン	中塚 孝則
R07.12.18 R07.12.19	東京都 2-8903	KAKEHASHI(同)	ワタナベトシアキビクトール
R07.12.04 R07.12.11	神奈川県 2-1308	(株)スターフォーム	山下 晃司
R07.12.15 R07.12.17	新潟県 3-484	Grebo(株)	齋藤 俊
R07.12.03 R07.12.08	京都府 3-1061	ジェイナビゲーター(同)	松浦 諭実
R07.12.15 R07.12.26	徳島県 2-180	四国交通(株)	一木加津雄
R07.12.10 R07.12.17	高知県 地-147	雲の上の旅企画	來米 豊史
R07.12.11 S45.06.25	東京都 3-8898※	鹿島観光	鹿島 武基

● 令和8年1月分

登録日 入会日	登録番号	名称	代表者
R07.12.24 R08.01.05	埼玉県 3-1360	和旅行(株)	ジョウ・コウ
R07.09.18 R08.01.23	千葉県 2-1141	(株)星辰	林 叙鳳
R07.12.25 R08.01.06	東京都 2-8904	日本星栄(株)	朱 瑞雪
R08.01.08 R08.01.16	東京都 2-8909	(株)ギフトライフ	山田 希彦
R08.01.27 R08.01.29	石川県 2-316	(株)ククリゾート	西川 圭史
H29.01.19 R08.01.27	岐阜県 2-388	岐阜乗合自動車(株)	葛西 信三
R08.01.27 R08.01.30	滋賀県 3-304	びわこツーリズムサポート	中川 直樹
R08.01.27 R08.01.30	京都府 3-1070	(株)エデュケーションワールド	西森 朋幸
R08.01.26 R08.01.27	大阪府 3-3313	Omusubi Travel(株)	礪田 真
R08.01.26 R08.01.27	大阪府 2-3315	(株)にしがき	西垣 俊平
H19.11.01 R08.01.26	島根県 2-73	(株)バイタルリード	森山 昌幸
R08.01.05 R08.01.21	山口県 2-153	山口朝日放送(株)	阪本 俊哉

全旅協の3つのキャンセル補償制度



お客様都合による旅行取消の際に、お客様が旅行会社に支払う取消料を保険がカバーします。旅行参加者全員がキャンセルされる場合にも対応できます。

1 国内旅行

キャンセル補償制度 **70%** 補償



2 学校国内旅行

キャンセル補償制度 **100%** 補償



3 海外旅行

キャンセル補償制度 **70%** 補償



特長・メリット

病気やケガによる本人や親族の死亡、所定の期間内の入院・通院が対象です。そのほか右記の例にある自己都合による旅行取消に対応。

◆キャンセル料へのお客様のご不安を和らげ、旅行商品の安心付加価値をアップ!

支払われる保険金

◆保険の対象となる取消料は?

旅行契約に基づいてお客様が会員に支払う取消料です。

※企画旅行において会員と利用施設等との間で精算される金額を補償するものではありません。

◆保険金の計算方法

- ①国内旅行キャンセル ③海外旅行キャンセル 保険金の額 = 上記の取消料 × 70% が旅行者に支払われます。
- ②学校国内旅行キャンセル 保険金の額 = 上記の取消料 × 100% が旅行者に支払われます。

●1人当たりの掛金例

	①国内旅行キャンセル	②学校国内旅行キャンセル	③海外旅行キャンセル
旅行代金10,000円以下	130円	180円	180円
10,001円～20,000円	230円	320円	330円
20,001円～30,000円	330円	460円	480円
30,001円～40,000円	430円	610円	630円
40,001円～50,000円	530円	750円	780円

申込方法

- 契約エントリーシステムで24時間加入可能 > FAX不可
- お客様控えもプリンターで発行できます
- 旅行開始日の14日前までにお申し込みください
- 掛金は翌月一括請求 > 前払不要

例

急な出張、交通機関の欠航運休、イベントの中止・延期、ペットの死亡、災害避難指示ほか

(一社)全国旅行業協会の新しい保険制度! 自社企画旅行の催行中止による損害を補償する保険です

全旅協 旅行催行中止保険

悪天候や災害、交通機関の運休・欠航等による
企画旅行(募集型)の催行中止への備えに!
国内旅行・海外旅行ともに対象です

●保険金をお支払いする場合

下記の<1>から<3>をすべて満たす場合に、保険金が支払われます
<1>交通機関の欠航、宿泊施設の営業不能など(※)が発生すること。

※下記6つの事象(①から⑥)をいいます

<2>安全円滑な旅行の実施ができない。

<3>旅行会社として企画旅行の催行を出発前に中止する。



具体的には ▶

- ①地震、噴火または津波の発生
- ②海外でのテロ
- ③交通機関の運休・欠航
- ④道路の通行止め
- ⑤宿泊施設の営業不能
- ⑥目的地の甚大な被災

●お支払いする保険金の額⇒旅行代金の一律10%です

例) 旅行代金総額が1000万円の団体旅行が台風等で中止の場合、100万円が保険金として会員に支払われます! ただし会員ごとに1年間で保険金累計1000万円が限度です。

●お支払い事例

～沖縄向け受注型企画旅行 20名・500万円～

台風が沖縄を通過する影響で飛行機が欠航することにより、翌日出発予定の企画旅行の催行を中止し、代金500万円を旅行者に払い戻した。

50万円をお支払い
(500万円×10%)

●申込方法

契約エントリーシステムにて、旅行開始日の14日前までにお申し込みください。掛金は翌月一括の後払いとなります。

※パンフレットは「契約エントリーシステム」内の「リンク集」をご参照ください。



自然災害対応

国内旅行キャンセル補償制度

70% 補償

学校国内旅行キャンセル補償制度

100% 補償

海外旅行キャンセル補償制度

70% 補償



一般社団法人 **全国旅行業協会**
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

<(一社)全国旅行業協会 事務受託会社>
<(一社)全国旅行業協会 指定保険代理店>
株式会社 旅行ビジネスサポート



一般社団法人 **全国旅行業協会**
ALL NIPPON TRAVEL AGENTS ASSOCIATION

<(一社)全国旅行業協会 事務受託会社>
<(一社)全国旅行業協会 指定保険代理店>
株式会社 旅行ビジネスサポート

デジタル化・AI導入補助金2026 (1/2補助)使えます!

※回IT導入補助金

インボイス制度対応済

電子帳簿保存法対応



あっという間に**行程表・見積書**ができる

旅行業営業支援
ネットワークシステム

TR.NS 旅行業システムSP

施設検索

地図から選んでいくだけで行程表が完成

検索
選択

ワープロ入力はほとんどなし!
見積書自動作成
PDF書き出し可能!

施設をクリックすると詳細情報が表示されます

全国の豊富な施設データから検索・選択
地図からも施設検索・ルート確認
コース経路時間を自動検索・計算

行程表完成!

業界最大級のデータベース搭載

観光施設データ 約166,000件	道路・移動データ 時間・距離・料金	宿泊施設データ 約18,000件	時刻表データ 鉄道・飛行機・船	学校地点データ 約74,600件
----------------------	----------------------	---------------------	--------------------	---------------------

2025年1月末現在

しっかりしたいトコロは何ですか?
引受書・指示書が簡単にできます

バス運行管理システムSP

大好評! 旅行業システムと連動します

バス料金見積上限下限を正しく(引受書に)記載できていますか?

●[DTS-C1][DTS-C1D][DTS-D1A][DTS-D1D]
(富士通製) / ITP-WebService よりCSV出力
●[DTG3][DTG4](矢崎製) / SD-WシステムよりCSV出力
●[DTG5][DTG7](矢崎製) / ESTRA よりCSV出力

※当サービスの内容については万全を期していますが、弊社は一切責任がないことを保証しません。

商品の詳しい説明や、資料請求・無料デモのお申込みは
<https://www.traveroute.jp/>
メールでのお問い合わせはproduct_info@broadleaf.co.jp

トラベルルート 検索

株式会社ブロードリーフ 特販部

0120-47-2610

受付時間 9:00~17:30(土日祝・年末年始を除く)

Copyright © 2025 Broadleaf Co.,Ltd.

全旅協の動き (令和8年 3月~5月)

3月	会議名等
3日 (火)	第65回常任理事会
6日 (金)	第505回三役会 ◇ (公社)日本観光振興協会第199回理事会 (東京)
11日 (水)	明日の観光を考える会 (東京) ◇ 第218回理事会
12日 (木)	第26回支部長連絡会・懇親会 (東京)
16日 (月)	北信越地方支部長連絡会 (富山)
19日 (木)	第16回支部事務局長会議 (東京) ◇ 第48回弁済業務副管理役会 (東京)
25日 (水)	(株)全旅取締役会 (東京)
4月	
1日 (水)	東海地方支部長連絡会 (愛知)
15日 (水)	第506回三役会
21日 (火)	中国地方支部長連絡会 (島根)
29日 (水)	昭和100年記念式典 (東京)
5月	
8日 (金)	第69回総務財務委員会
15日 (金)	第4・四半期及び決算監事監査
20日 (水)	第507回三役会
26日 (火)	第66回常任理事会
27日 (水)	第219回理事会 ◇ 第82回苦情弁済委員会
28日~31日	日台観光サミットin苗栗 (台湾)



()内は開催地。無記載は全旅協本部事務局。

渡航情報 (スポット情報)

問い合わせ先

- ◆外務省領事局 領事サービスセンター (海外安全担当)
TEL: 03-3580-3311 (代表) (内線 2902・2903) TEL: 03-5501-8162 (直通)
平日 9:00~12:30 / 13:30~17:00 土日祝日は休み
- ◆インターネット / 外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>



受け継ぐのは、人への思い。

私たちはじまりは130年以上前の明治時代。

「人々の暮らしや幸せをお守りしたい」

この創業の思いが、原点であり原動力です。

これからも、すべての人々の幸せとより良い社会の実現に向け、

私たちは挑み続けます。



東京の街を守るため結成された
私設消防団
「東京火災消防組」
(1888年)



損害保険ジャパン株式会社 ライフ産業部 第三課
〒103-8255 東京都中央区日本橋2-2-10
<https://www.sompo-japan.co.jp/>

損保ジャパンの
ブランドストーリーは
こちら▶



損保ジャパン